

平成 30 年 7 月 26 日

会 員 各 位

取手市商工会
会長 菊 地 城一郎
(会 長 印 省 略)

東日本大震災後の復興状況視察研修の実施について

先日、全国地震動予測地図 2018 年版が地震調査研究推進本部から発表になりました。「今後 30 年間に震度 6 弱以上の揺れに見舞われる確率」の地図が発表になり、首都圏周辺並びに関東北部の当地域も 26%以上の確立の高い地域に含まれております。

災害はいつ起こるかわからない中で発生します。

商工会としても表題の東日本大震災から復興に向けて頑張っている地域の皆さんから意見を聞き、今後の事業継続に役立てていただきたいと企画いたしましたので、多くの皆様方に参加していただきますようご案内いたします。

記

1. 期 日 平成 30 年 9 月 17 日(月)～18 日(火)
2. 視察先 福島県南相馬市
3. 宿泊地 穴原温泉(飯坂)
 「吉川屋」(五つ星の宿)
4. 日程表 別紙日程表のとおり
5. 参加費 20,000 円(参加費の内 10,000 円は部会より補助)
6. 募集人員 40 名 応募者多数の場合は部会にて調整いたします。
 (すべての商工会会員の皆様方は、商業部会・工業部会・土木建設業部会・サービス業部会・料飲業部会のいずれかに所属しておりますので商工会担当者までご連絡ください。)
7. 申 込 別紙申込書記入の上、8 月 25 日までに FAX 若しくは商工会までご持参ください。

以上

南相馬市復興状況視察日程表

期間 平成 30 年 9 月 17 日 (月,祝日) ~18 日 (火)

9 月 17 日 (月)

取手市商工会(7:00 発)=谷和原 IC=友部 SA 若しくは中郷 SA
=ならば PA=南相馬 IC=原ノ町(11:15 昼食)=南相馬市役所(ガイド同乗
被災地案内 12:20~14:20) =R115 経由=霊山パーキング
=穴原温泉(飯坂)・吉川屋五つ星の宿(16:50 着)

9 月 18 日 (火)

吉川屋(9:00 発)=フルーツ園なしぶどう狩り(9:15)=福島飯坂 IC
=二本松 IC=二本松城見学(11:00)=二本松隊士館(12:10 昼食)
=二本松 IC=郡山東 IC=高柴デコ屋敷(13:50 見学)=郡山東 IC
=いわき JCT=関本 PA=友部 SA=谷和原 IC=商工会(18:40 頃着)

下記視察申込書を FAX 若しくは商工会まで提出してください。
定員を超える申込があった場合は部会間での調整を行います。

FAX 0 2 9 7 - 7 3 - 6 6 4 4

電話 0 2 9 7 - 7 3 - 1 3 6 5

視察申込書 申込締切は 8 月 25 日(土)

会社名	
所属部会	
氏名	
住所	〒
連絡先	
その他	

地震年表 1990年代以降

1993年(平成5年)7月12日

北海道南西沖地震 (マグニチュード 7.8)

奥尻島で震度 6 死者 230 人

1994年(平成6年)10月4日

北海道東方沖地震 (マグニチュード 8.2)

釧路市・厚岸町深度六 北方領土で死者 11 人

1995年(平成7年)1月17日

兵庫県南部地震 (阪神・淡路大震災マグニチュード 7.3)

兵庫県南部・淡路島北部 震度 7 死者・行方不明 6437 人

2000年(平成12年)10月6日

鳥取県西部地震 (マグニチュード 7.3)

境港市・日野町で震度 6 強 (日野町で震度 7)

2003年(平成15年)5月26日

三陸南地震、宮城県北部沖地震、東北地震 (マグニチュード 7.1)

岩手県・宮城県 震度 6 弱

2003年(平成15年)9月26日

十勝沖地震 (マグニチュード 8.0)

北海道新冠町・厚岸町他 震度 6 弱 死者・不明者 2 人

津波 2M

2004年(平成16年)10月23日

新潟県中越地震 (マグニチュード 6.8)

新潟県川口町 震度 7 死者 68 人

その後震度 6 強クラスの余震が続いた

2007年(平成19年)7月16日

新潟県中越沖地震 (マグニチュード 6.8)

新潟県長岡市・柏崎市 震度 6 強 死者 15 人 津波 1M

2011年(平成23年)3月11日

東北地方太平洋地震(東日本大震災) (マグニチュード 9.1)

宮城県栗原市 震度 7 東日本 7 県で震度 6 弱以上

死者・行方不明者約 2 万 2000 人 数日間誘発地震・余震が発生

津波 波高 10M 以上、最大遡上高 40.1m にも上る巨大な津波

2016年(平成28年)4月15日

4/14 前震 益城町 震度 7 4/15 熊本地震の本震 益城町震度 7

(マグニチュード 7.3) 死者 258 人

2018年(平成30年)6月18日

大阪府北部で地震 (マグニチュード 6.1) 震度 6 弱

大阪市北区・箕面市・高槻市 死者 4 人

地図編に含まれる二種類の地震動予測地図 確率論的地震動予測地図 2018年版

現時点で考慮し得るすべての地震の位置・規模・確率に基づき、各地点がどの程度の確率でどの程度揺れるのかをまとめて計算し、その分布を示した地図群。揺れの強さ、期間、確率のうち二つの値を固定して、残りを地図に示すなど、様々な種類を作成した。

確率の地図では、北海道南部や仙台北野の一部、首都圏、東海～四国地域の太平洋側および糸魚川-静岡構造線層帯の周辺地域などの確率が高い。

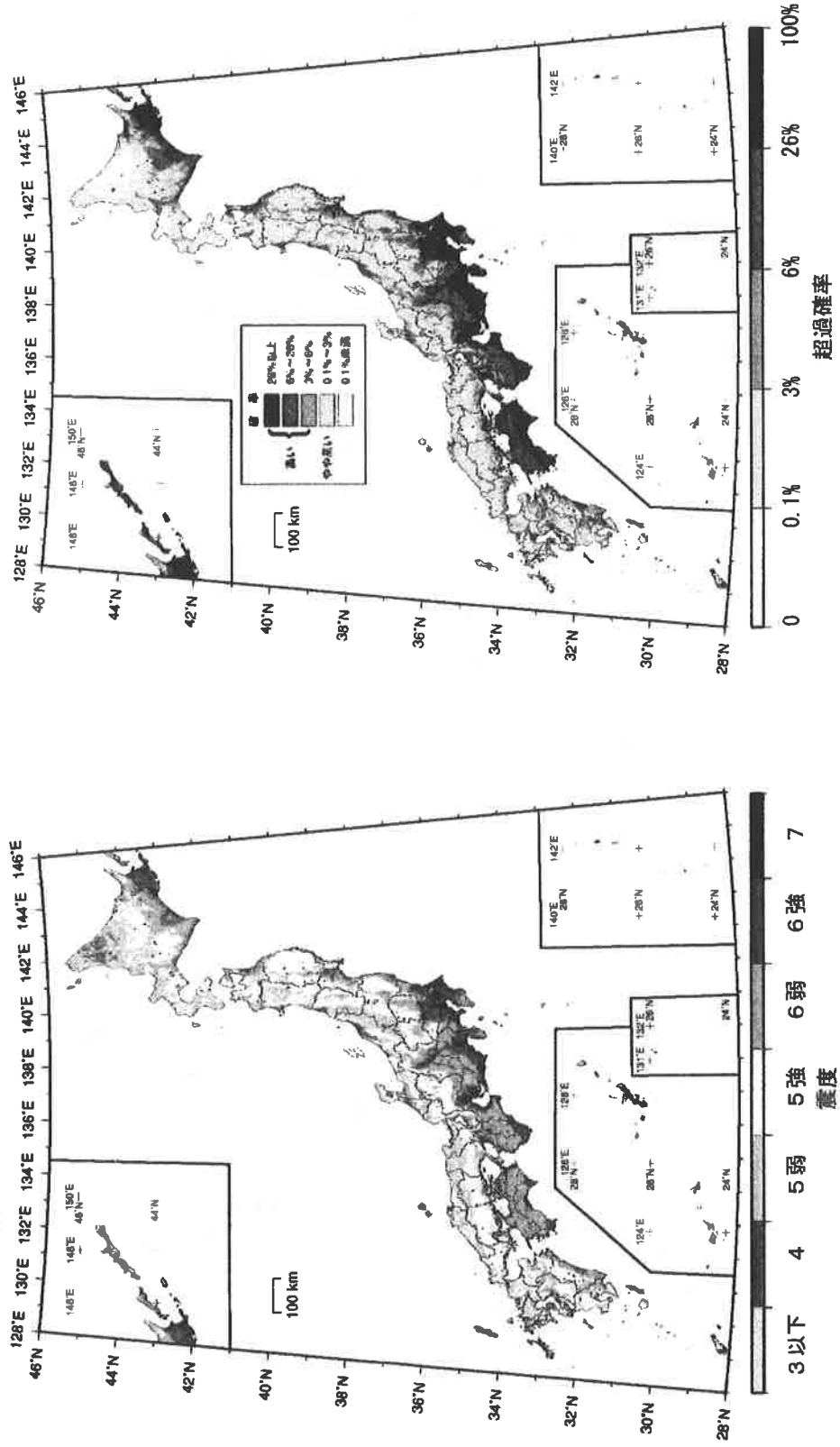


図3 今後30年間にその値以上の揺れに見舞われる確率が3%となる震度／期間と確率を固定して震度を示した地図の例) 図4 今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率／期間と揺れの強さを固定して確率を示した地図の例)